町へ夢を
運ぶ蝶
つなぐ未来

蝶が舞う姿は
コチラから

お元気ですか

寄居議会です

注目！ 蝶 町民取材

寄居町に来た理由は…

特集

町民と共に考え評価する決算

埼玉県・寄居町議会
令和8年 9月定例会
（2026.11.15発行）
No.122

特集

町民と共に考え評価する決算

＼蝶／
注目！町民取材



アサギマダラに、聴いてみた。“寄居町を選んだ理由”

今号の特集は「町民と共に考え、評価する決算」。町の課題を明らかにし、施策を検証する上で欠かせないのが「町民の生の声」だ。決算審査で各議員が注目した事業について議員全員が取材を敢行する中で、思いがけない出会いがあった。

町内西部地区の花畑に、2000キロもの距離を旅する「渡り蝶・アサギマダラ」が飛来しているという。なぜ、そんな遠くから寄居町に？

早速「蝶民取材」へ。秋の七草の一つ、フジバカマの甘い香りに誘われ、ひらひらと優雅に舞うアサギマダラが目の前に。感動の一瞬だ。花畑を手がけているのは矢島頼夫（やじまよりお）さん（関連記事 裏表紙）。翌年の飛来に向け、挿し木で苗を増やし、植替えを重ねて、アサギマダラが立ち寄れる環境を整えているという。この地道な積み重ねが、旅する蝶にとって寄居町を心地よい立ち寄り先にしたのかもしれない。

この「蝶の心情」は、町と議会がめざす町づくりにも大切な視点を教えてくれる。相手が何を求めているのかを知り、その思いに応えるために準備を重ねる。蝶がこの花畑に魅力を感じたように、町民にとって魅力ある町づくりも、そこから始まるのではないだろうか。

町が提案し、議会が議決した予算によって実施された事業は、町民が本当に求めていたものだったのか。今号の巻頭特集では、注目する事業について町民と議員がそれぞれの視点で見、考え、ABCD評価をした。アサギマダラが再び訪れた花畑のように、町民が魅力を感じ、未来に希望を持てる町へ。その実現につながる事業を見極め、その「声」を次年度予算へとつなげていきたい。議会は住民自治の窓口。町の成果や課題を町民と一緒に見つめ直すことに重きを置く、寄居町議会の役割を果たしていきたい。

今号の町民取材は議員全員で敢行。町民と議員のそれぞれの評価。視点の違いが、解決の糸口だ。

◆ＡＢＣＤ評価の根拠
A…大変良い（目標を大きく上回る成果が出ている）　B…良い（概ね目標通りの成果が出ている）
C…やや課題あり（目標に達しておらず見直しが必要）D…課題が大きい（成果が出ておらず抜本的な見直しが必要）

「私はこう見る」空調設備等（庁舎空調設備等更新工事）





関谷寿（せきやひさし）議員　私の評価は A

私の視点　環境改善

公共施設等の大規模改修のため、令和7年度に多額の財源を投入。毎日使う建物内の空調設備なので、電気料金が下がったのは良かった。来庁者、職員の環境が改善され、仕事の効率も上がるはず。



金子峻昌（かねこたかまさ）さん（用士）　私の評価は B

私の視点　費用対効果

町の限られた予算から、約2億5000万円も使ったのだから、我々の役場訪問時の快適性より、職場環境の改善による費用対効果を期待する。

この事業は… 30年経過した役場庁舎の2か年にわたる総額4億5728万円の空調設備更新工事で庁舎全体で152台。令和6年度は2億350万円。

数字で見る成果 令和7年度 庁舎の電気料金 **1946万円**（前年度比14.1%減、320万円削減）

「私はこう見る」命を守る帽子（自転車用ヘルメット購入費補助金）

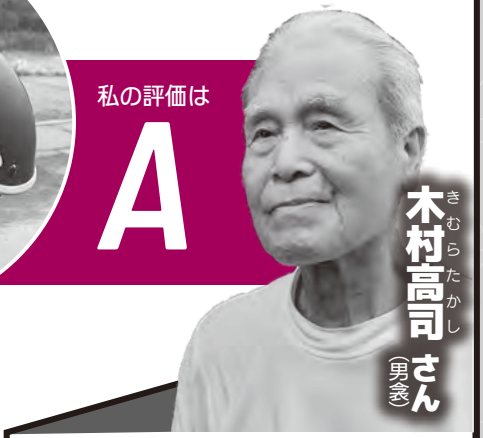




里見夕子（さとみゆうこ）議員　私の評価は B

私の視点　安全の一歩

令和7年度の申請数は減少してしまったが、自転車の交通ルール（青キップ）変更でヘルメットの重要性は高まっている。高齢者の安全を守る制度として、利用の広がりと継続に期待する。



木村高司（きむらたかし）さん（男衾）　私の評価は A

私の視点　もっと周知を

努力義務になった時にヘルメットを購入。自転車で転倒した際、着用していたのでけがなく済んだ。補助があると知っていれば活用したかった。よい事業なので特に高齢者にもっと届く周知をしてほしい。

この事業は… 高齢者の自転車乗車時の安全確保と交通事故による被害軽減を図るため、自転車用ヘルメットの購入費の一部を助成する事業。

数字で見る成果 令和7年度の助成実績 **10件**（令和6年度の実績は43件）

※金額の単位：万円（未満切捨）

決算に対する評価

ABCD評価の根拠

A…大変良い（目標を大きく上回る成果が出ている）　B…良い（概ね目標通りの成果が出ている）　C…やや課題あり（目標に達しておらず見直しが必要）　D…課題が大きい（成果が出ておらず抜本的な見直しが必要）

※金額の単位：万円（未満切捨）

「私はこう見る」修繕と再開（かわせみ荘児童館屋上防水改修工事）





浅見玲子（あさみれいこ）議員

私の評価は **C**

私の視点　放置しすぎ

かわせみ荘内の児童館は数年前から雨漏りで閉鎖されている。近年の猛暑や雨で保護者のニーズが高まっている。雨漏りの修繕は評価できるが、そもそも取り掛かるのが遅すぎる。



池田照手（いけだてるて）さん（男衾）

私の評価は **B**

私の視点　使用可能に

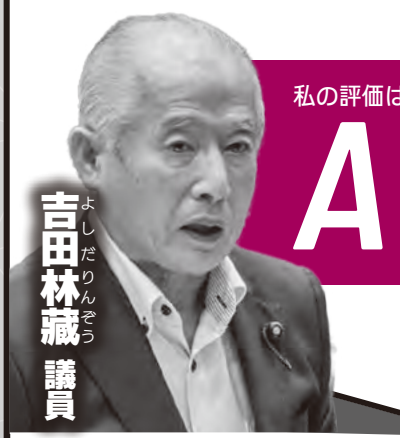
かわせみ荘に児童館や入浴施設があることを知らなかった。雨や猛暑で外遊びできない時、子どもと深谷市の複合施設「ワモア川本」を利用している。雨漏りの修理だけでなく、使えるようにしてほしい。

この事業は…　令和７年度380万円で総合福祉センターかわせみ荘児童館の屋上の雨漏りの修繕が行われた。

数字で見る成果　令和７年度の稼働日はゼロ

「私はこう見る」敬老会参加（敬老会事業）





吉田林藏（よしだりんぞう）議員

私の評価は **A**

私の視点　持続可能に

健康は世代を超えた共通の願い。団塊世代が後期高齢者となり、敬老会参加人数が増えている。健康長寿社会が生まれてきている中、今後も高齢者との共生が必要であり、その持続が重要だ。



宮下敦子（みやしたあつこ）さん（西部）

私の評価は **A**

私の視点　長寿社会を

今日の寄居町を築き上げていただいた100歳以上の方が34人となっており、特別に尊敬できる。全ての100歳以上の方へのお祝いとして、町広報紙に特集記事を載せることが必要だと思う。

この事業は…　75歳以上の高齢者を対象に、各地域公民館単位で毎年９月～10月に開催されている。

数字で見る成果　令和７年度の敬老会参加人数　**3472人**（前年度比475人増）

わたしたち議会が「聴く・動く」を掲げ、町民取材を始めて11年。その数は1000人を超えた。

用語 V2H：電気自動車（EV）を蓄電池として、家と電気をやり取りするしくみ。停電時に自動車のバッテリーを家中で使える非常用電源。

「私はこう見る」太陽光発電
（エコハウス推進事業補助金）

令和7年度決算額 559万円



津久井大雄（つくいひろたけ）議員

私の評価は **A**

私の視点　災害に強し

家庭用蓄電池の伸びに注目したい。自宅に蓄電した電力を夜に使う家庭や新築でのオール電化住宅が増えている。今後も、補助金の増額を望む。

押野智恵子（おしのちえこ）さん（西部）

私の評価は **A**

私の視点　車も家も

V2H用語があれば、貯めた電力を家庭だけでなく車でも使用できる。太陽光発電と組み合わせることで、家庭の電気代を削減できる。災害時にも使える電気自動車とセットの補助金を望む。

この事業は… 再生可能エネルギー促進のため、住宅用太陽光発電システムや家庭用蓄電池等の設備等導入費用の助成。1機器当たり7万円（一部機器は3.5万円）。

数字で見る成果 令和7年度の蓄電池設置数 **57基**（前年度比12基増）

「私はこう見る」コンパクトな町
（まちなか居住促進補助金）

令和7年度決算額 1620万円



久保鷹矢（くぼたかや）議員

私の評価は **C**

私の視点　中古に軸足を

駅周辺への誘導という方針は理解できるが、新築への補助は町民に重いローンを負担させ、将来の空き家も増やしかねない。中古住宅の取得・改修への支援に軸足を移し、制度を見直すべきだ。

尾形慎哉（おがたしんや）さん（市街地）

私の評価は **C**

私の視点　2駅周辺だけ？

80万円の補助があれば、地区によっては取得する住宅の内容や規模を充実することができ、さらに魅力的な制度になる。補助対象を町内全域に広げることも、検討してはどうか。

この事業は… 寄居・男衾駅周辺で住宅を取得する若年世帯（39歳以下）または子育て世帯（18歳以下の子どものいる世帯）に最大80万円補助。中古住宅は半額。

数字で見る成果 補助金交付件数 令和6年度 17件 → 令和7年度 25件（寄居駅周辺 7→13／男衾駅周辺 10→12）

町と私たちの評価で行う決算

ABCD評価の根拠

A…大変良い（目標を大きく上回る成果が出ている）　B…良い（概ね目標通りの成果が出ている）　C…やや課題あり（目標に達しておらず見直しが必要）　D…課題が大きい（成果が出ておらず抜本的な見直しが必要）

「私はこう見る」町施設の今後

（社会福祉協議会委託事業）



令和7年度決算額
4929万円



本間政道（ほんまさみち）議員

私の評価は **C**

私の視点　売却検討を

かわせみ荘建物の老朽化により、今後の維持管理が難しい状態になっているのではないか。管理コストも上がっており、改修、建替え、売却等、町民にとって最善の方法を模索することが重要だ。



椎名孝文（しいなたかふみ）さん（桜沢）

私の評価は **C**

私の視点　良い活用を

将来を見据えた計画をお願いしたい。町営でも民間でもよいので、町民が喜ぶような施設であってほしい。また、無駄のない町税の使い方をしてもらいたい。

この事業は…　昭和57年開館の「かわせみ荘」のうち、老人福祉センター（1F）、児童館（2F）は、寄居町社会福祉協議会が指定管理者となっている。

数字で見る成果　令和7年度決算額　**4929万円**（令和6年度 4786万円）

「私はこう見る」観光の振興

（かわせみ河原可動式トイレ設置工事）



令和7年度決算額
3322万円



保泉周平（ほずみしゅうへい）議員

私の評価は **B**

私の視点　費用対効果

河原にはトイレがなかったが、今回県とのタイアップにより実現。河川敷のため、大水の被害予想等も考えて可動式にした。水道の引込みに高額な費用となった。今後の観光振興につなげることが重要。



清水耕作（しみずこうさく）さん（市街地）

私の評価は **A**

私の視点　料金をアップ

トイレができたことによって利用者の利便性が向上して良かったが、約3000万円という高額な設置費用には驚いた。河原の利用料金の値上げを含め、回収できる道を探る必要があると思う。

この事業は…　「水辺 de ベンチャーチャレンジ事業」によるかわせみ河原の整備では、河川敷への可動式トイレを設置し、利用者の利便性を向上。

数字で見る成果　令和7年 かわせみ河原利用者 **3万6363人**（約2か月間の閉鎖期間あり）

町民の声を聴く。小さな声から、大きな課題に気づく瞬間がある。これはきっと議員の真剣勝負なのだ。

※金額の単位：万円（未満切捨）

「私はこう見る」大雨災害対策

（鷹ノ巣中西水路改修工事）





権田孝史（ごんだたかし）議員

私の評価は **B**

私の視点　優先事業に

水利のため設置されていた木製の固定堰（せき）により、通水断面が小さくなっていた。通水量が制限されていたことで大雨時に影響が出た。安心して暮らせる環境づくりが行政の仕事だ。スピードがカギ。



大島恵美子（おおしまえみこ）さん（男衾）

私の評価は **C**

私の視点　早い改善を

浚渫（しゅんせつ）工事だけでは、実感として何も改善されていない。自然の怖さを目の当たりにし、常に不安を抱えている。私はこの場所が好きなので、早い対策をお願いしたい。

この事業は…　固定堰を可動式の堰にする改修工事。この工事により大雨時の通水量を確保した。（令和元年12月定例会に請願提出。全員賛成で採択）

数字で見る成果　令和７年度決算額　**126万円**（令和６年度96万円）

「私はこう見る」イノシシ・鹿・熊

（有害鳥獣駆除委託料）





笠原則夫（かさはらのりお）議員

私の評価は **B**

私の視点　組織強化を

駆除しても増え続ける有害鳥獣に、緊急銃猟の準備も加わる。若手の目覚ましい活動もあるが、組織としては今後どうなるのか。地域を守る重要な活動なので、推移を見守りたい。



湯本竜一郎（ゆもとりゅういちろう）さん（男衾）

私の評価は **B**

私の視点　迅速な通報

我々猟友会は、要請により対応します。「住民（通報）→役場（要請）→猟友会」の連携が迅速に行われれば害獣捕獲の成果も向上します。住民の方には、まず、役場への速やかな通報をお願いしたい。

この事業は…　寄居猟友会に委託し、定期的にわな等を使用して有害鳥獣駆除を依頼。毎年農作物の被害はあるが、安定した捕獲高となっている。

数字で見る成果　令和７年度の駆除頭数　**イノシシ133・シカ37**（令和６年度 イノシシ198・シカ92）

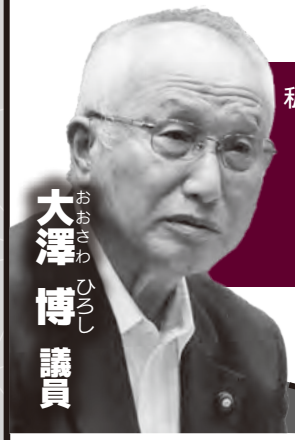
町と私たちの評価で決算

ABCD評価の根拠

A…大変良い（目標を大きく上回る成果が出ている）　B…良い（概ね目標通りの成果が出ている）　C…やや課題あり（目標に達しておらず見直しが必要）　D…課題が大きい（成果が出ておらず抜本的な見直しが必要）

「私はこう見る」町内経済循環（住宅改修資金補助金）





大澤博（おおさわひろし）議員

私の評価は **B**

私の視点　利用しやすく

町内経済の循環活性化に大きく貢献する制度、経済効果は予算額の10倍以上。さらなる町内経済循環の活性化のために予算増額と、年度内完了ではなく次年度繰越しできるような改善が必要。



会澤重行（あいざわしげゆき）さん（男衾）

私の評価は **B**

私の視点　補助額UPを

町内経済を活性化させる良い制度。諸物価高騰による生活への影響が大きく住宅に資金が回せない町民と、町内事業者の経済をよくするために、さらなる補助額UPで経済好循環を。

この事業は…　町内事業者による20万円以上の住宅リフォーム工事を対象とした補助。補助金は工事費の10%（ただし上限20万円）。

数字で見る成果　令和7年度決算額　998万円（令和6年度998万円）

「私はこう見る」投票改革（参議院議員　衆議院議員選挙）





吉澤康広（よしざわやすひろ）議員

私の評価は **C**

私の視点　電子投票を

町内には15か所の投票所がある。期日前投票や立会人等の負担軽減もあり、投票時間を短縮する選管も出てきている。町で行う選挙について新たな方法である「電子投票用語」も視野に入れ、検討すべきだ。



小野田勉（おのだつとむ）さん（折原）

私の評価は **B**

私の視点　選挙の未来

他の自治体の取り組みを参考に、電子投票の導入費用や安全性を検証し、寄居町でも時代に合った新しい選挙制度を検討してほしい。

この事業は…　令和7年度　参議院議員通常選挙1900万円（埼玉県選出議員選挙投票率56.62%）、衆議院議員総選挙1580万円（小選挙区選出議員選挙投票率53.93%）。

数字で見る成果　職員人件費　参議院議員通常選挙　672万円　衆議院議員総選挙　689万円

用語　電子投票：電磁的記録式投票制度。投票所に設置されているタブレット等の画面に表示された候補者一覧から、投票したい候補者を選んで投票する。

※金額の単位：万円（未満切捨）



「私はこう見る」道路改良完了

（町道9199号線（末野2区地内）道路改良工事）



私の評価は **A**

稲山良文（いなやまよしふみ）議員

私の視点　住民の願望

地域住民の陳情による道路改良工事が完了し、地域住民は大変喜んでいる。デコボコの砂利道は雨が降るとぬかるみ、幅員も狭く、歩行者は大変だった。地域の道路環境が大いに向上した。



私の評価は **A**

浅見亜紀（あさみあき）さん（西部）

私の視点　感謝の心で

生活道路が改修されて大変うれしい。車の通行や子どもたちの通学路として、安全安心を期待している。この気持ちを大事にし、ご近所と一緒にこの道路の環境美化に努めたいと思う。

この事業は…　住民の陳情による末野（日山）地区の道路改良工事。地権者の協力等により、令和7年度で計画どおり完了。

数字で見る成果　令和7年度決算額　939万円（令和6年度1153万円）



「私はこう見る」部活動地域展開

（部活動地域移行実施事業）



私の評価は **B**

吉田正美（よしだまさみ）議員

私の視点　生徒に好評

令和7年度モデルケースとして、2つの部活動で休日の地域クラブ活動を実施。外部指導者に任せることで教員負担が軽減。生徒からも「専門的な指導が受けられる」という声があり、好評。



私の評価は **B**

佐藤卓也（さとうたくや）さん（男衆）

私の視点　指導者の質

部活動を学校教育の一環として捉え、外部指導者には常に教育的配慮を怠らずに指導してほしい。行き過ぎた指導はあってはならない。また、部費等の保護者負担が大きくならないようにすべきだ。

この事業は…　公立中学校教員の負担軽減や少子化を背景に、休日の中学校部活動の地域クラブ活動への移行を図った。

数字で見る成果　令和7年度の地域展開　2　寄居中女子バスケ部　城南中女子ソフトテニス部（令和6年度はゼロ）

今やアサギマダラの飛来は1か所に留まらない。共感とその波動が新しい町をつくっていく。（裏表紙もご覧ください）

「独立した立場」から町財政と行政運営をチェック

監査委員の視点

監査委員は、地方自治法に基づき、町長から独立した機関で、町の財務や行政事務を監査している。公金が適正に使われているか、事業が効率的に行われているかなどを確認し、必要に応じて改善を促す。令和7年度決算については、審査結果を「意見書」にまとめ、8月26日に町長に提出した。町長はその意見書を添えて議会に決算を提出。議会は審査を経て認定の可否を決定した。今回は、監査委員の視点とあわせ、町の財政と決算をひもとく。

＼実質収支で／ 8億7256万円の黒字決算



予算の執行は「適正」と認定

令和7年度決算 監査委員はこう指摘・要望した

①財政の健全性と持続可能な行政運営

町税収入は過去2番目の高水準となった一方、自主財源比率は48・3%に低下し、経常収支比率は85・0%に上昇。財政の硬直化が懸念される。社会保障費の増大や公共施設の更新、物価高騰を見据え、持続可能な財政運営が求められる。

②予算編成の精査と「選択と集中」

多額の不用額が生じた事業もあり、予算編成段階から事業の必要性や経費を十分に精査し、限られた財源を効果的に活用する「選択と集中」が必要である。

③未収金の解消

町税や町営住宅使用料等の未収金について、負担の公平性と財源確保の観点から、引き続き解消に向けた取り組みの強化が求められる。

④介護保険事業の円滑な移行

大里広域市町村圏組合の解散に伴い、令和12年4月から介護保険事業が町へ移行する。町民サービスに支障が生じないよう、早期の準備と円滑な事業承継が必要である。

⑤職場環境の改善と行政体制の強化

行政需要の増大や職員の病気休暇等の増加を踏まえ、業務の平準化、職員間の応援体制の整備、健康管理の充実等、安心して働ける職場環境づくりが求められる。

全文はコチラ



「新」寄居町の合併の経緯は、役場庁舎東側にそびえる石碑に刻まれる。
「寄居町はひとつ」。市街地・西部・桜沢・折原・鉢形・男衾・用土の7地区それぞれの特色と可能性を生かしたい。
（「意見書」より抜粋）

監査委員制度による「公平性」とは、完全に中立・客観的な立場で、税金の使い道を厳しくチェックするということだ。

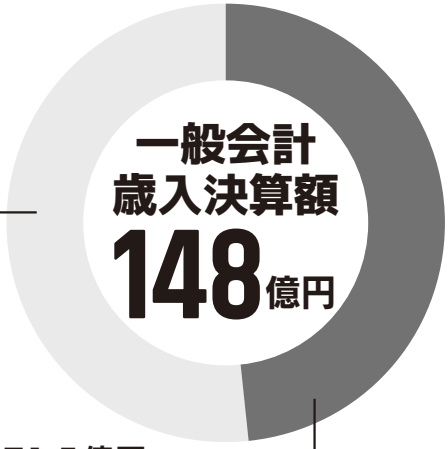
令和7年度一般会計決算を認定

町税収入は5.3%増の54億5656万円（収納率98.46%）

あわせて読みたい

令和7年度決算の詳しい内容は「広報よりい 11月号」

町の財政状況…



依存財源76.5億円

51.7% 国や都道府県の決定により交付・割り当てられるお金

地方交付税交付金	20億円
国庫支出金	21.9億円
町債	10億円
その他	24.6億円

自主財源 71.5億円

48.3% 自らの力で徴収・収入できる財源

町税	54.6億円
その他	16.9億円

【推移】

令和3年度	46.8%
令和4年度	51.6%
令和5年度	51.1%
令和6年度	48.4%

議会の視点

町民の満足度は？

物価高騰が続き、家計への負担が重くのしかかっている。町は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和7年度2億7482万円）を活用し、様々な支援事業を実施している。一方、本会議では、後期基本計画に基づく令和7年度の成果指標のうち、「子育て」「地域福祉」に関する項目の達成度が低いとの指摘があった。事業の実施が町民の暮らしの満足度向上につながっているのか、その効果が問われている。

稼ぐ力

財政力指数（財政力）

0.751

行政サービスに必要な経費を、自前の財源でどれだけ賄えるかを示す指数。
▶令和7年度は埼玉県23町村中4位。1.0に近いほど財政力が強いとされる。

財布のゆとり

経常収支比率（弾力性）

85.0%

使い道の自由な一般財源に占める毎年必要となる経費の割合。
▶前年度より2.2ポイント上昇。町村にあっては70%程度が妥当。

借金の重み

実質公債費比率（借金割合）

4.4%

借金返済額が財政規模に占める割合。
▶前年度より0.4ポイント上昇したが、早期健全化基準の25%を大きく下回る。

将来の借金

将来負担比率（財政圧迫度）

34.5%

将来負担する負債が財政規模に占める割合。
▶前年度より12.0ポイント上昇したが、早期健全化基準の350%を大きく下回る。

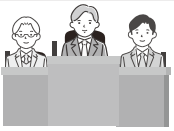
監査委員とは

町長



監査委員を選任（識見を有する者）

議会の同意



議会の同意を得て監査委員を選任

監査委員



・原則2名
識見を有する者1名
議会選出の議員1名

監査の実施



- 定期監査
- 例月出納検査
- 決算審査
- 基金運用審査
- 財政援助団体等監査
- 住民監査請求に基づく監査

監査結果の報告・公表



- 町長へ報告
- 議会へ報告
- 住民に公表（議会だより・町ホームページ等）

住民



町民の皆さん

住民監査請求



町の財務や事務の執行について、住民が監査を請求することができます

寄居町の監査委員についてはコチラ

改善・適正化

監査の結果を踏まえ、行政運営の改善や適正化につなげる

議会議論 議員の主張

令和7年度決算討論

寄居町令和７年度決算で賛否が分かれた一般会計・特別会計決算。町民の暮らしを見つめ、議員は何を評価し、何を課題としたのか。財源の使い道をめぐる賛否の主な論点を紹介する。

あわせて見たい議場のリアル

討論は8分30秒ごろから



討論

読めば見える 賛成・反対“視点の違い”

	賛成	反対
一般会計	**賛成** 財政指標は**良好**な状況 保泉周平議員 少子高齢化問題、公共施設・インフラ資産の老朽化など厳しい状況である中、財源の確保と住民サービス向上に期待。	**反対** 物価高騰に**独自支援を** 大澤　博議員 物価高騰に国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金だけでなく、町独自の支援策をするべき。
国民健康保険特別会計	**賛成** **持続可能**な制度の堅持 笠原則夫議員 法定外繰入金を除いても黒字決算の令和7年度。国民皆保険制度を長く堅持するために不断の努力を願いたい。	**反対** 重い負担で**仕組み破綻** 浅見玲子議員 事業主が半額負担の社保と違い、国保は全額個人負担で均等割加算もあり重い負担。制度的に破綻している。
後期高齢者医療特別会計	**賛成** 高齢者医療の**安定運営** 里見夕子議員 安定した制度運営と健康診査や疾病予防の充実を通じて、高齢者の健康維持と生活の質の向上に期待する。	**反対** 年金受給者に**重い負担** 浅見玲子議員 被保険者の多くは年金受給者で、保険料負担が重い。高齢者が安心して医療を受けられる保険制度にすべきだ。
水道事業会計	**賛成** 将来の水道、**どう守る** 久保鷹矢議員 料金改定で純益は約1億2000万円、経営の安定化。有収率低下や更新の遅れが課題、財源確保に期待。	**反対** 水道料金**減額で支援**を 大澤　博議員 物価高と水道料金の値上げで町民の生活は苦しい。町独自の支援として水道料金の減額を行うべき。

私たち寄居町議会は、各議員の賛否をオープンにする。これも「見える化」のひとつ。

公開します 9月定例会 全議案の審議結果・議員の賛否

平成20年以降の議決結果（議会HP）

上程議案・概要・結果 全賛…全員賛成で可決・認定・採択　賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択　欠…欠席　除…除斥 賛成：○　反対：×	結果	関谷 寿	里見夕子	浅見玲子	吉田林藏	津久井大雄	久保鷹矢	本間政道	保泉周平	権田孝史	笠原則夫	大澤 博	吉澤康広	鈴木詠子	稲山良文	原口 孝	吉田正美
令和７年度寄居町歳入歳出決算の認定																	
一般会計（歳入147億9620万2639円・歳出138億8282万1991円） 歳入は、財産売払収入や地方特例交付金が大きく減少したが町民税と固定資産税が増収となったことにより、前年度比0.9%減。歳出は定額減税補足給付事業や男衾中学校長寿命化改修事業が完了したことにより、前年度比2.2%減。 (P.10-11に記事掲載)	賛多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－	○
国民健康保険特別会計 （歳入38億524万5533円・歳出36億4265万1331円） レセプト点検の推進、ジェネリック医薬品の利用促進、特定健康診査の未受診者勧奨等を行ったが、１人当たりの医療費は対前年度比8.6%増の45万2635円となった。	賛多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－	○
後期高齢者医療特別会計 （歳入5億5520万7222円・歳出5億5211万6742円） 被保険者数は高齢化の進展に伴い、対前年度比3.8%増の6177人。１人当たりの医療費は対前年度比6.6%増の82万3034円となった。	賛多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－	○
水道事業会計 （収益的収入10億29万5955円・資本的収入3億1480万500円/収益的支出8億7858万1627円・資本的支出6億7142万7642円） 年間総配水量は479万4200㎥で、対前年度比4.1%の18万8668㎥の増となった。	賛多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－	○
下水道事業会計 （収益的収入6億2822万1444円・資本的収入1億7781万2990円/収益的支出5億9509万9407円・資本的支出4億1617万8288円） 年間処理水量は公共下水道事業114万9703㎥、農業集落排水事業19万9306㎥となった。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
公設浄化槽事業会計（収益的収入1334万5384円・資本的収入319万1000円/収益的支出1473万6563円・資本的支出292万200円） ２基設置工事を実施。全体では75基の浄化槽の管理運営をしている。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
令和８年度寄居町補正予算																	
一般会計【2回目】 218万6000円（0.01%）増額 令和７年度の決算額の確定や、その他の事務事業の変更に伴うもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
国民健康保険特別会計【1回目】 189万8000円（0.05%）増額 事業費の確定等に伴い、所要額の補正を行うもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
後期高齢者医療特別会計【1回目】 1170万6000円（1.87%）増額 保険料の増額や前年度決算額の確定等に伴い、所要額の補正を行うもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
規約・条例の一部改正																	
大里広域市町村圏組合の共同処理する事務の変更及び大里広域市町村圏組合の規約変更について 大里広域市町村圏組合が管理運営するごみ焼却施設の範囲を定める必要があるため、共同処理する事務の一部と規約を変更するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
寄居町税条例の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律並びに金融商品取引法及び資金決済に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
寄居町こども医療費支給に関する条例の一部改正 医療法等の一部を改正する法律の施行による社会保険診療報酬支払基金法の改正に伴い、規定を整備するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
寄居町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正 医療法等の一部を改正する法律の施行による社会保険診療報酬支払基金法の改正に伴い、規定を整備するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
人事・その他																	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 任期満了に伴い、再任　木村親雄さん（男衾）を推薦する。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 任期満了に伴い、新任　新田なおみさん（鉢形）を推薦する。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
町道路線の廃止 開発行為により路線を廃止するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○

議事進行を行う議長（原口孝議員）は 賛否同数の場合のみ「議長裁決」として賛否表明

過去４年間の「議会からの提言」は予算にどう反映されたか？

届け！町民の声

令和７年度の決算審議は３日間（９月28日・29日・30日）行われ、２３９項目の質疑があった。その中でも令和９年度予算に反映すべきと考えた32項目について、議員全員でその内容を討議し、全会一致となった「４項目」を町へ提言した。議会としても今回が一期４年任期の最終年度の「提言」となる。この４年間で議会からの政策サイクルを回しながら、町民の声が、予算にどう反映できたのかをあわせて検証する。

■寄居駅南口旧ライフ跡地活用

令和５年10月・令和６年10月に提言→民間企業間の取引が成立し、令和９年度中にオープン予定

■町道整備

令和５年10月に提言→令和６年度予算に反映
協働の道づくり事業補助金（生コン支給）増額

■路線バス（寄居駅南口乗り入れ）

令和６年10月に提言→令和７年度予算に反映
県北都市路線バス維持対策協議会へ正式に要望書を提出

■体育館へのエアコン設置

令和７年10月に提言→令和８年度予算に反映
総合体育館・アタゴ記念館及び３中学校設置への設計料の予算化



民間企業が発表した再生計画資料の一部


実態把握や相談体制など空き家対策を求める

空き家対策

防災、防犯、衛生、景観への影響を踏まえ、空き家の実態把握や所有者への指導、相談体制の充実、除却・跡地活用など、空き家率の低下に向けた対策を。



誰もが投票しやすい環境づくりを求める

投票環境整備

高齢者や障害のある方など、移動が困難な町民への投票支援や移動式投票所の導入を検討し、電子投票の費用や運用上の課題について調査研究を推進すべき。

町への提言は「良い町をつくる鍵」。私たち議会は、出して終わりにはしない。次の扉を開くために。

4項目を町へ提出

令和8年10月19日





実現へ

寄居スマートIC 関連道路整備

物流の効率化や地域産業の活性化に向け、国道254号へのアクセス道路について、県道や町道の拡幅・整備に向けた関係機関との協議・検討を。



国道254号へのアクセス道路の整備を求める

子どもが安心して遊べる 屋内遊び場の整備

児童館が利用できない現状を踏まえ、既存公共施設や小学校跡地の活用も視野に、財政負担に配慮しながら、子どもが安心して遊べる屋内遊び場の整備を。


小学校跡地の活用も視野に整備を求める

議員12の視点

一般質問という名の政策提議

あわせて読みたい

議員からの政策提案が町の基本構想・基本計画に対しどのように反映されていくのか。一般質問を「第６次寄居町総合振興計画後期基本計画」の項目で分類して、見える化する。



寄居町HPで公開
第6次寄居町総合振興計画後期基本計画

子育て・教育・人権・人づくり［基本目標１］	
役場庁舎内におけるキッズスペースの設置	本間
総合体育館・アタゴ記念館のトイレ洋式化	本間
城南小学校の通学路	津久井
ワイヤレス補聴システム	吉田林
吃音について学ぶ授業	吉田林
子育て支援の充実	浅見
日本版DBS（こども性暴力防止法）	鈴木
カスタマーハラスメント条例	鈴木
中学校部活動の地域展開	保泉
妊娠を望む世代への総合支援	里見
電子図書館の今後の運営方針	久保

産業・にぎわい・雇用［基本目標２］	
物価高騰対策	浅見
農地中間管理事業	保泉
物価高騰への対応	大澤
個人の起業と「仕事をつくる人」に選ばれる町	吉澤

健康長寿・福祉・コミュニティ［基本目標３］	
YORII KENKO 弁当	津久井
歯周病検診	津久井
寄居町総合社会福祉センターかわせみ荘	浅見
歯周病等の対策	笠原
改正医療的ケア児者法	鈴木

環境・防災・利便性・コンパクト［基本目標４］	
防災・避難	津久井
感震ブレーカー補助	吉田林
指定避難所の環境改善	稲山
防災の充実	笠原
寄居町のクーリングシェルター	笠原
災害対応	大澤

歴史・文化・自然［基本目標５］	
鉢形城公園でのお月見の会開催	吉田林
クビアカツヤカミキリの対策	保泉

その他	
町保有の広告媒体	津久井
投票率の向上	稲山
職員手当	久保
自治体計画の策定・運用のあり方	久保
職員の発案を生かした施策	吉澤

（議員名 マーカー 項目は記事掲載あり）

早急に避難所のトイレ環境改善を



追跡！このテーマ、以前も質問

本間政道（ほんままさみち）議員

アタゴ記念館のトイレは

問 近年、いつ災害が起きるか予測できない。寄居町も例外ではないと考える。そのことからも、避難所の確保は重要だ。総合体育館・アタゴ記念館は町最大の指定避難所である。トイレの洋式化やドアの外開きなどトイレ環境は最優先で配慮すべきと考えるが、町の考えは。

適時必要に応じて対応

答 更新や修繕の機会を捉えて必要に応じて進めていく。



時代やニーズに合った環境整備を

玉淀ダムと町との防災関連は



追跡！このテーマ、以前も質問

津久井大雄（つくいひろたけ）議員

危険と背中合わせ

問 玉淀ダムは放水から10分足らずで急激に増水するが、放水時のサイレンについて町民は正しく理解しているのか。また注意喚起の看板は錆びて草に覆われており、河原利用者に伝達が不十分と考えるが、町の考えは。

玉淀ダム管理者が実施

答 放水時のサイレンに対する町民の認識について、町は把握していない。注意喚起の看板についてはダム管理者が設置したものなので、現状を管理者に伝達していく。



このままでは伝わらない

一般質問の記事は1人200文字。だからこそ私たちは「伝える」に妥協しない。見出しも写真もキャプションも。

感震ブレーカーの購入・設置補助を

追跡！このテーマ、以前も質問

吉田林藏（よしだりんぞう）議員

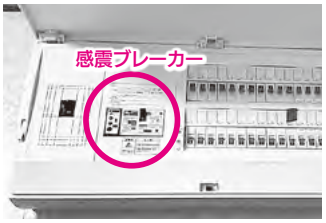


感震ブレーカー普及推進

問 感震ブレーカーの購入や設置に補助を実施していない理由は。町では今後、住民向けの感震ブレーカーの購入・設置に補助を考えているのか。また、感震ブレーカーの認知度を高めていくための周知について、町の考え方を問う。

地域防災計画と併せ検討

答 感震ブレーカーに関する町の補助支援について、他自治体の取り組み状況を十分に調査研究した上で、感震ブレーカーの寄居町地域防災計画への位置づけも併せて検討する。



通電火災を防止する有効な機器

全町民に物価高騰支給金を増やすべき

追跡！このテーマ、以前も質問

浅見玲子（あさみれいこ）議員



3000円は近隣で最低

問 町は、物価高騰支援として全町民に一人3000円のヨリカカードを配布したが、近隣の市町に比べ少額だった。また、ヨリカアプリ登録者へのポイント還元はその3倍の予算が組まれ、そうでない方との不平等感がある。全町民への支給を増やすべきではないか。

早急な対応を最優先した

答 物価高騰対策への早急な対応を優先したもの。ヨリカアプリは、登録すれば誰でも使えるので不平等ではない。



全町民に3000円分が支給された

指定避難所の環境改善を急ぐべき

追跡！このテーマ、以前も質問

稲山良文（いなやまよしふみ）議員

R7.9月定例会



避難生活の質向上を確保

問 避難所の災害関連死を防ぎ、避難者の生命と健康を守ることが重要だ。そのためにトイレ（T）、キッチン（K）、ベッド（B）の基本的な環境整備が必要。「TKB」の設備等に関する備蓄状況を伺う。

環境改善に万全を尽くす

答 トイレは既存の洋式トイレを利用する簡易トイレのほか、マンホールトイレ、組立式、ラップ式の各トイレがある。食事では、かまど、ガス器具、発電機や畜電池を、ベッドでは段ボールと簡易ベッドを備蓄している。



備蓄は十分か？

「歯科検診」を町の特定健診項目に

追跡！このテーマ、以前も質問

笠原則夫（かさはらのりお）議員



特定健康診査歯科導入を

問 統計データによると、寄居町の年齢調整後医療費で、「歯科」は全国平均より18％超の低い水準である。歯科検診を町の特定健康診査に組み入れて、町民の口腔環境を向上させたいと考えるが、町の考えを伺う。

新規事業の経過含め検討

答 町の新規事業である「歯周病検診」や厚生労働省が発表した主要施策プランの「簡易検査ツールを活用した簡易歯科健診」等の実施状況等を踏まえて検討したいと考える。


健康は歯から

議員12の視点

用語 日本版DBS：子どもと接して働く人の性犯罪歴（不同意わいせつ・児童ポルノ所持・児童買春・痴漢・盗撮等）を確認し、子どもへの性暴力を防ぐ。

議場のリアル　紙面では伝えきれない緊迫感、真剣勝負！　QRコードから各議員の一般質問の映像が視聴できます。ぜひご覧ください。



日本版DBS用語施行で性犯罪防止へ

追跡！このテーマ、以前も質問　鈴木詠子（すずきえいこ）議員

申請費用の助成の考えは

問　令和8年12月に施行の日本版DBSは、町内の幼稚園、小・中学校、保育所等は義務対象で過去の性犯罪歴の確認がされるが、学習塾や放課後児童クラブ等の認定取得は任意である。国の認定を受ける費用（約3万円）が申請のハードルとならぬよう、国・県の補助金を活用した助成や制度周知の考えはあるか。

今後検討していく

答　申請費用の助成は今後検討、従事者への制度周知を進めていく。



こまもろうマーク取得が安心の証明



みんなが安心して過ごせる避難所を

追跡！このテーマ、以前も質問　大澤（おおさわ）博（ひろし）議員

R3.3月定例会
R6.12月定例会

避難所生活環境の改善を

問　避難者数を想定した段ボールベッドや、プライバシーを守るための仕切り等は確保できているのか。また、熊本地震では、人手不足により、段ボールベッドの組み立てが滞ったと聞く。避難所の設備と設営体制について伺う。

地域防災計画により対応

答　町全体では、段ボールベッド30個、簡易ベッド160台、仕切り用段ボール50枚、テント型防災ルーム230個等を配備し、地域防災計画により設営及び運営を行う。



指定避難所のひとつ 男衾コミセン



特定外来生物「クビアカ」の猛威

追跡！このテーマ、以前も質問　保泉周平（ほずみしゅうへい）議員

R6.3月定例会

「クビアカ」対策深刻！

問　桜などの樹木に幼虫が侵入し、最終的に枯死に至らしめるクビアカツヤカミキリによる被害が止まらない。当町において、観光や農業への被害状況を伺うとともに、町の取り組み強化について具体的な対策方法を伺う。

被害木の伐採多数発生

答　町内の被害としては、かわせみ広場周辺の桜の木で、また農業に関しては梅の木に被害があり、薬剤注入による対応をしたが一部枯死。学校などの公共施設の被害木は伐採した。



放ったらかしたら 来年増殖するよ



経済負担多い不妊治療に支援強化を

追跡！このテーマ、以前も質問　里見夕子（さとみゆうこ）議員

通院交通費助成で応援を

問　不妊治療支援は、産むかどうかを決める制度ではなく未来の選択肢を広げる支援だ。当町には、対外受精などの高度生殖医療を行える施設がなく、遠方への通院が必要となる。不妊治療などに伴う通院交通費を助成すべきだと考えるが、町の見解は。

国の制度踏まえ今後協議

答　国の母子保健医療対策総合支援事業に不妊治療実施施設への交通費等の助成が今年度から追加された。それを踏まえ今後、協議検討していく。



望む思いに支援を

※「QRコード」は株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

視点深化 1 2

用語 ローカル10000プロジェクト…総務省が推進する地域密着型の起業や新規事業の初期投資費用を支援する制度

15年前には全議員の約3割だった一般質問の登壇者は今や平均7割に。これはまさに「進化」だ。

2・6億円！行政計画の費用かかりすぎ

追跡！このテーマ、以前も質問 久保鷹矢（くぼたかや）議員



問 5年間の委託費と効果は

全国知事会では計画策定を義務づける新たな法令や通知をつくらないよう声明を出している。計画策定等を外部コンサルタントに委託した件数と金額及びその費用や能力に見合った効果検証のしくみがあるか伺う。

答 36件、約2・6億円

5年間の委託件数は36件、委託料は約2億6470万円で、国県支出金等約9300万円を充当。計画自体の効果を検証する仕組みはないが、一体的策定等でコスト抑制に努めている。



「計画」は必要？ 根本の見直し不可欠

新しい時代の起業を寄居で実現

追跡！このテーマ、以前も質問 吉澤康広（よしざわやすひろ）議員



問 国の支援制度活用を！

店舗を持たないなど既存制度では対象とならない、新しい形の起業は増えている中、こうした事業も支援対象となりうる「ローカル10000プロジェクト」用語を活用しない理由は。

答 手続未整備のため活用せず

全国的に交付決定を受けている自治体が少なく、事業採択の手続が整備されていないことから、募集をしていない。新たな事業への財政的支援は、現時点では他の支援制度で対応していく。



コワーキングスペースで新規事業

「新コラム」vol.1

議会深化 一般質問 議場のひとコマ

変わるだけでは終わらない



議場モニターに表示される残時間をにらみつつの真剣勝負

残り1秒。その一瞬まで「真剣勝負」

9月定例会の一般質問には、議長を除く15人の議員のうち12人が登壇した。

発言残時間がわずか3秒となる場面や、時間切れを告げるブザーが議場に鳴り響く場面もあった。

一問一答方式による臨場感あふれる質疑が展開される一方、傍聴者には議論の流れがわかりにくいという課題もある。

直近約4年間の一般質問の定例会ごとの登壇者数は平均11人。町民の声を町政に届け、町政の課題を問い続ける姿勢が、一般質問の場に表れている。限られた発言時間を最大限に使い、最後の1秒まで問い続ける。その一瞬に、寄居町議会の真剣な姿勢が映し出されている。

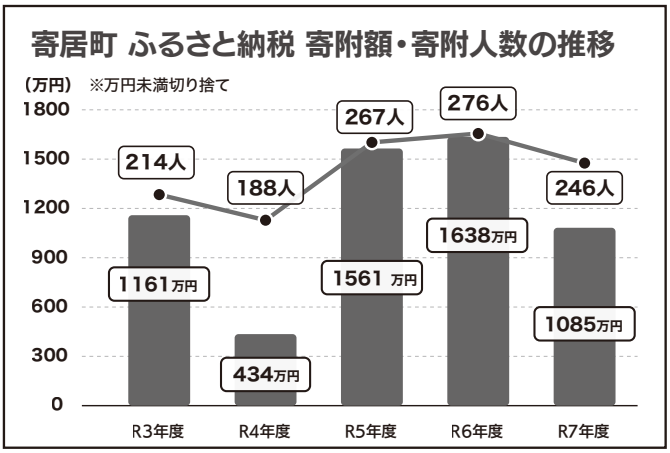
町民の声を背に 新たなテーマで進める研究

令和8年度、それぞれテーマを決定し、常任委員会での調査研究がスタート。まず現状把握と分析を基に「調査ポイント」を検討。先進自治体の視察を通し、町民からの声（疑問や提案）を、町への提言につなげたい。

ふるさと納税・企業版ふるさと納税

総務経済常任委員会

赤字回復のための「強化策」調査へ



【町の現状と調査ポイント】
寄附額は令和6年度の1638万円から7年度は1085万円へ減少。返礼品開発やサイト運用の課題に加え、住民税控除の影響等により7年度は約700万円の実質的な財政負担が生じている。今後、企業版ふるさと納税の営業不足も含めた改善策を、他自治体視察等を通じ研究する。

「分かりやすい体制を」



風布でみかん園を手伝っています。ふるさと納税は詳しくなく、使ったこともないです。でも町産業のPRになるなら、事業者が使いやすく、分かりやすい体制を整えてもらいたいです。

田島國士（たじまくにお）さん（本庄市）

寄居町初 城南小学校でのバス運行は

スクールバス運行事業

文教厚生常任委員会

【町の現状と調査ポイント】
令和10年の城南小学校開校に伴うスクールバス運行について先進地を視察した。

【視察内容（令和8年7月13日）】
川島町「8台のバスを運行。歩行距離が2㎞を超える区域が対象」。
飯能市「奥武蔵小学校では、登校時は1便、下校時は授業に合わせ1便、または2便運行」。

【要望内容】
（今回で調査を終結）
①車両はバスに限定せず、タクシーも検討する
②より多くの児童が利用できるようにする
③保護者が車両の位置情報を取得できるよう配慮する
④乗降場所は、児童の安全確保を最優先に
⑤利用者からは利用料は徴収しないものとする
⑥運行事業は毎年度検証する

「随時改善を」



学校統合後の通学路確認のため、校長先生が自ら歩いて、通学距離を把握してくれたのはありがたいです。乗降場所は、放課後児童クラブとの位置を考慮してほしいです。運行が始まっても随時改善することを要望します。

松本　圭（まつもと　けい）さん（折原）



山間部を含む広範囲から子どもたちを安全に送迎（飯能市）

※9月29日放送のNHKテレビ「首都圏ネットワーク」と
10月19日放送のNHKラジオ「首都圏らじお」で紹介

寄居町議会がNHKに取り上げられた理由

～町民との距離を縮める議会だよりの挑戦～

議会事務局にある日、NHKから一本の電話。「本当に議員さんが取材に行っているんですか？」。NHKのテレビとラジオ※で寄居町議会の取り組みが紹介された。この取材を受けたことは、私たちが議会だよりの役割を改めて考えるきっかけとなった。



議員が町民のもとへ足を運び、要望や課題を聴く「町民取材」

▼「町民の声を待つのではなく、聴きに行く」

今回、注目されたのが、議員自らが町民のもとへ足を運び、暮らしの声や地域の課題を直接聴く「町民取材」。そして、その「町民の声」を政策提案につなげる取り組みだ。寄居町議会は議会だよりの編集を通して、この活動を継続してきた。町民のもとへ実際に会いに行き、表情を見つめ、言葉を交わすことで、数字や資料だけでは見えてこない思いや課題に気づかされてきた。

町民の声を聴くだけで終わらせず、具体的な政策提言につなげる。「声のチカラ」を生かすことが、町民取材の大きな意義だ。

議会だより120号
「エアコン設置の提言が予算化」

▼「無投票でいいんですか？」という問いかけ

令和元年、町制施行以来初めて、無投票となった寄居町議会議員選挙。その後の議会だよりで「無投票でいいんですか？」「脱・無投票」への思いとともに、議会への関心や政治参加について、町民に問いかけ続けてきた。

議員の成り手不足や無投票選挙は、議員だけの問題ではない。これからの町の政治を誰が担い、町民の声をどう反映させていくのか。住民自治のあり方を町民とともに考えるための問題提起だった。

町民の声を直接聴き、議会の課題も町民と共有する。議会活動を伝えるだけではなく、議員自らが町民のもとへ出向き、その声を議論や政策提言につなげていく。こうした「議会から町民へ一歩踏み出す姿勢」こそ、私たちが目指してきた議会広報の姿である。



議員が町民取材を行う現場をNHKが取材



議会だより93号
特集「無投票でいいんですか？」

カギは「声のチカラ」

＼原口議長が考える／

「町民の声を議会活動にどう生かしていくべきか」

町民の声を聴くことは、議会活動の出発点です。しかし、大切なのは聴いた声をそのままにせず、そこから見えてきた課題を議会全体で共有し、議論を深めていくこと。

今回のNHKの取材を一つの契機として、町民との対話をさらに大切にし、政策提言や町政への反映につなげていきたいと考えています。

これからも、町民に身近で、信頼される議会を目指してまいります。

聴くだけではない
課題を議論し町政へ


原口議長

NHKの取材を受けたことで、あらためて気づいたこと。それは議会、そして議員の本当の役割。

お元気ですか
寄居議会だより
No.122
2026年（令和8年）11月15日発行

＼蝶／
注目！町民取材

アサギマダラに聴いてみた 小さな羽がつないだものは

「フジバカマの苗を植え育て、蝶の飛来を待つ」。この取り組みは、町内小学校や長寿会へと広がっている。アサギマダラは、ひらひらと町のあちこちへと飛来。多くの人へ感動を届けている。

（2ページに関連記事）



矢島頼夫（やじまよりお）さん（西部）

アサギマダラの好物のフジバカマは、脇芽が多くて1年で大株になるので、そのままだと次の年に良い花が咲きません。だから、古い株は捨てています。アサギマダラに会うために、毎年3月頃から、脇芽1本ずつの苗作りから始めるんです。全国からの飛来を待っています。

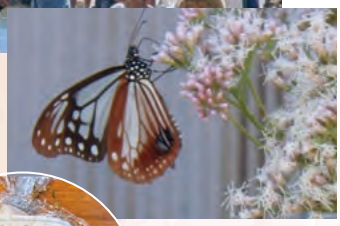
◀「250km49日の旅」
矢島さんの庭には、山形県山形市蔵王温泉スキー場中央グレンデから8月17日に飛び立った蝶が、10月5日に確認された。（マーキングされたZAO 8.17の文字が見える）

まちに芽吹く「希望」

「今年もありがとう」
寄居小学校

9月24日、アサギマダラが初飛来！ 昨年より10日早い訪問に子どもたちは大喜び。今年もアサギマダラの季節が始まりました。フジバカマのポプリ作りにも挑戦。「今年も寄居小に来てくれてありがとう！」







◀手作りのポプリ（香り袋）は、見守り活動を行う地域の皆さんに配られた。

「音色に誘われて」
鉢形小学校

10月2日、音楽会の練習中、音色に誘われたかのようにアサギマダラが体育館へ飛来。捕獲後は羽にマーキングを行い、観察しました。こうした環境緑化への取り組みが評価され、令和8年度埼玉県環境緑化コンクールに入賞しました。





「物語に感動」
末野東部長寿会

今年初めて、みんなで苗を植えるところから挑戦。旅する蝶、アサギマダラがつなぐ物語に感動しました。





EDITORS NOTE，122

「蝶が教えてくれたのは…課題に向き合うチカラ」

アサギマダラの美しさの向こうには、取材しなければ知ることのできなかった人の思いがあった。町民の声もまた、直接会い、表情を見つめ、声の温度に触れてこそ、その奥にある切実な思いや課題の本質が見えてくる。議会はこれからも町民のもとへ足を運び、その声の奥にある課題を捉え、町政を動かす力に変えていきたい。（鈴木）

議会広報広聴特別委員会

委員長 鈴木詠子
副委員長 本間政道
委員 里見夕子・浅見玲子・吉田林藏・津久井大雄・久保鷹矢・保泉周平

発行責任者（議長）原口 孝

UD 高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用

「動画で見る議会だより」議会HPで公開中！

KOE METER 議会が聴いた皆さんの声

今号は16人が登場

0 1 0 3 2
（2015年～）

次回定例会は
12月1日（火）開会予定
（日程は変更になる場合があります）

請願・陳情はいつでも受け付けています。役場3階「寄居町議会事務局」宛に、持参か郵送でご提出ください。

発行 寄居町議会（議長 原口 孝）
編集 議会広報広聴特別委員会
直通 TEL 048・581・9995
FAX 048・581・5100
〒369・1292 埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番地1